



5歳児 10名が閉まの森に行きました。  
今年度初めての森の日。子どもたちこの日とて楽しみました。  
（あまりに楽しみすぎて、今朝は4:30に目覚めたとか...）

← 元気に園と出発の  
「しーっしーっ」


電車の中で、 →  
「楽しみだね」と会話の弾み  
あり。



台風が接近中ということもあり、時々強い風が吹き  
あり。風が吹き、木が揺れると、サワッという葉の  
擦れ音か聞こえてきた。その様子を見ていた子ども  
たち。

「森が... お話しているね...」と一言。  
子どもらしい発想から出て言葉あり。

森に到着

子どもたち「あ、注目している、地面に落ちていたどんぐり  
だね。」「葉、はら下にたくさんあるよ」「つるつるしてね。」と  
話しながらどんぐり拾いを楽しんでいました。  →



← 森の中にあんな大きな木はくっす。  
どれくらい大きいのでしょう。みんなが手をのびても届か  
ない。  
「まじ届かない」と輪に加わって反対側へどんどん増え...  
「届いたよ」と人数を数えれば全部で8人。  
木の大きさと体感して子どもたちだね。



← 葉っぱの裏には小アヒボツボツ...  
 「これ、アヒボツ...?」「(おうして言うんだった)」  
 「(おうして何??)」「...??」  
 「よし、保育園に帰って(お母さんに)い」  
 森には知らぬと、わがやうな虫が(アヒボツ)あつた。  
 アヒボツは、子アヒボツ(アヒボツ)は(アヒボツ)ワクワク、ドキドキ...

「この葉っぱ、くさーいよ」と持ってきたのは  
 ドクダミの葉。「くさいけど、虫除けにはいいよ」と  
 教えてもらい、さっそく手に擦りつけてみました。  
 確かに虫は来ないかも...? しかし、アヒボツは強烈...



← 枯れ葉の中の虫。見つからなかった?  
 地面を何気なく見ては、突然アヒボツが飛び出してきた。  
 枯れ葉とくさりのアヒボツに興味津々の子アヒボツ。  
 「逃げちゃうから、ととね」と小アヒボツの声を話しながら  
 じつじつ観察していました。

△ お昼ごはん △



森のデザート  
 さくらんぼを食べました。  
 とても甘いさくらんぼ。中には「さくらんぼ」  
 苦手なので食べない」と言っています。



お昼は塩おぼろびとおい  
 しく頂きました。  
 (アヒボツ)遊んでお昼はへろへろ...  
 おいしそうに塩おぼろびと頬  
 ばち子アヒボツ。



お母さんからのメッセージ  
 お家に帰ると、アヒボツの土産話を(アヒボツ)  
 してあげてね。